

## 中国でいち早くスタートした 5G 通信

株式会社クララオンライン  
コンサルティングチーム

### <要約と結論>

中国でついに 5G サービスが始まった。当初は 2019 年 9 月中のサービス開始を明言していたが、結局 10 月最終日にまでスタートがずれ込んだ。5G 契約数はすでに約 90 万件に上っており、ユーザーの注目度は高い。

現在 5G が利用できるのは北京や上海をはじめとするおよそ 50 都市だ。国内の主要都市を全面的にカバーするには、まだ 6~7 年かかるとの見通しもある。一方、自前の携帯電波塔を持たない中国広電は、代わりに既存の送電用鉄塔を利用して基地局を設置する戦略をとっており、広いエリアを迅速にカバーできると期待される。

5G サービスを利用するには、5G のカバーエリア内で、5G 対応スマートフォンを持ち、いずれかの通信会社で 5G 契約を結ぶ必要がある。SIM は交換しなくてもよく、5G 契約は通信会社の WEB サイトやアプリで行うことができる。

通信大手 3 社はそろって 5G の料金プランを発表しているが、ほぼ横並びの料金体系となっている。中国聯通(チャイナユニコム)は 129 元~599 元の 7 種類のプランを用意しており、プランによって通信速度が最大 500Mbps または 1Gbps となる。最もユーザーの多い中国移動(チャイナモバイル)は、個人プランのほかにファミリープランを用意しており、データ通信量や無料通話を 2 人で分けあうことができる。中国電信(チャイナテレコム)だけはプランによる通信速度の違いがなく、最もシンプルな料金体系となっている。

5G 対応スマートフォンは 2019 年 11 月の時点で、すでに 500 万台以上が出荷されている。6 月の発表当初は 5,000 元を上回る価格のモデルもあったが、すでに 2,000 元台の手ごろな価格帯の機種も登場している。現時点では華為(HUAWAI)が市場シェアの 7 割ほどを占めているが、若者に人気の小米が 2020 年以降に 10 機種を超える 5G スマホを発表するとしているほか、1,000~1,500 元の格安 5G スマホが数多く出回る見通しだ。

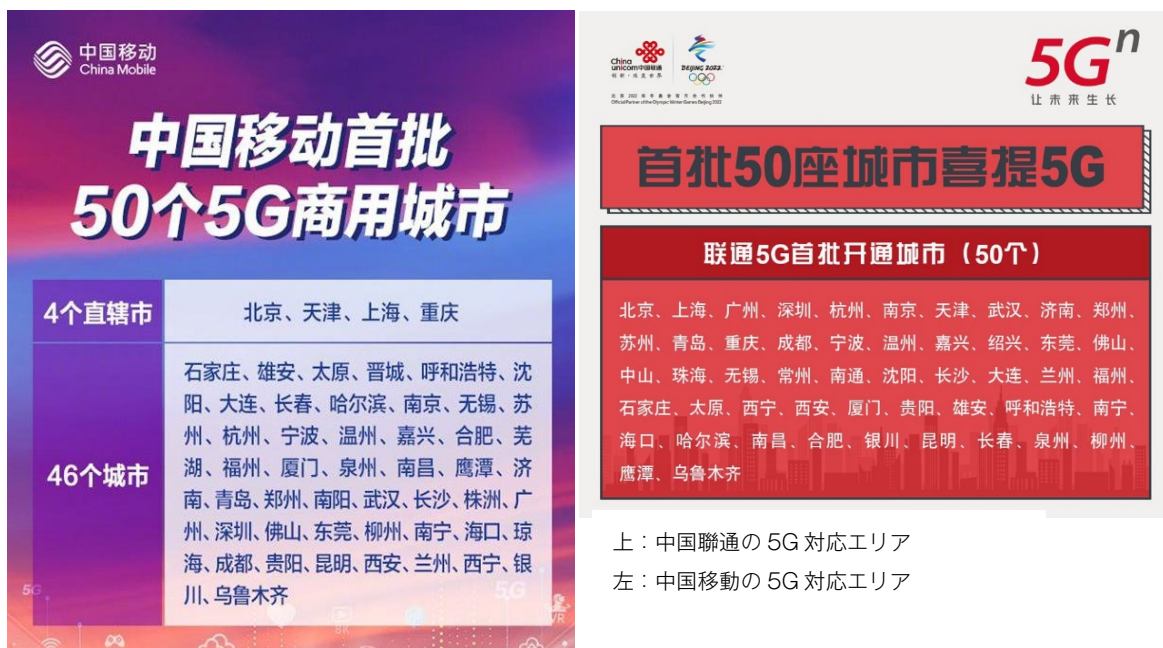
すでに 5G を利用中のユーザーからは、4G 端末に比べて電池の消耗が激しいといった不満も出ており、端末の値下がりと合わせて乗り換えの様子見しているユーザーも多いことが伺える。

## 1. ついに 5G サービス始まる

中国で 5G サービスが始まった。2019 年 10 月 31 日に開かれた中国国際情報通信展覧会の開幕式で、工業情報化部の陳肇雄副部長が 5G の商用化をスタートすると宣言すると、翌 11 月 1 日に通信大手 3 社が揃って料金プランを発表し、正式に 5G サービスが始まった。現時点の 5G 契約数は、およそ 87 万件に上る。

工業情報化部は、かねてから 9 月末までに 5G サービスを開始すると宣言していた。しかし 9 月になってもなんら進展はない様子で、“約束の期日”である 9 月 30 日になってようやく大手 3 社が 5G サービスの「利用予約を開始」と発表した。結局 9 月中のサービス開始とはならず、予約開始でお茶を濁した形だが、料金プランすら明らかでない段階にもかかわらず予約は好調に推移した。

現在 5G が利用できるのは、北京、上海、広州など、省都を中心とした約 50 都市だ。



4个直辖市	北京、天津、上海、重庆
46个城市	石家庄、雄安、太原、晋城、呼和浩特、沈阳、大连、长春、哈尔滨、南京、无锡、苏州、杭州、宁波、温州、嘉兴、合肥、芜湖、福州、厦门、泉州、南昌、鹰潭、济南、青岛、郑州、南阳、武汉、长沙、株洲、广州、深圳、佛山、东莞、柳州、南宁、海口、琼海、成都、贵阳、昆明、西安、兰州、西宁、银川、乌鲁木齐

**首批50座城市喜提5G**

**联通5G首批开通城市（50个）**

北京、上海、广州、深圳、杭州、南京、天津、武汉、济南、郑州、苏州、青岛、重庆、成都、宁波、温州、嘉兴、绍兴、东莞、佛山、中山、珠海、无锡、常州、南通、沈阳、长沙、大连、兰州、福州、石家庄、太原、西宁、西安、厦门、贵阳、雄安、呼和浩特、南宁、海口、哈尔滨、南昌、合肥、银川、昆明、长春、泉州、柳州、鹰潭、乌鲁木齐

上：中国聯通の 5G 対応エリア  
左：中国移動の 5G 対応エリア

工業情報化部の元部長で中国工業経済連合会の李毅中会長は、12 月 18 日に開かれたイベントで、5G が主要都市や市街地を全面的にカバーするには、まだあと 6~7 年かかるとの見通しを明らかにしている。これには基地局が約 600 万基必要で、総工費は 1.2~1.5 兆元に上るとした。なお、2019 年 12 月時点で全国に設置済みの 5G 基地局はおよそ 13 万基で、北京だけで約 1.4 万基が稼働しているという。

一方、通信会社ではなくラジオ・テレビ事業を営む中国広電は、5G の営業ライセンスを取得しているものの、まだサービスを開始していない。現在は基地局を整備している段階だが、そもそも自前の基地局塔を持っていないため、送電網を管理する国家电网と提携して全国の送電用鉄塔にどんどん設備を“引っ掛けて”基地局を増やしている。すでに立っている鉄塔を利用するため、なんと 2022 年には人口カバー率 95%の達成を見込んでおり、完成すれば先にサービスを始めた通信 3 社を上回る規模になるという。ただしサービス開始のめどは明らかにされておらず、商用化試験もまだ十分に行われていない状況となっている。

## 2. 各社の料金プランは横並び

5G を利用するには、5G のカバーエリア内にいること、5G 対応スマートフォン(スマホ)を持っていること、現在サービス提供中である通信大手 3 社のいずれかで 5G プランの契約を結んでいること、の 3 つの条件を満たす必要がある。

5G スマホの状況については後に取り上げるが、すでに数多くの機種が発売されている。5G プランを契約するには、わざわざ通信会社の窓口へ行かなくとも、今利用している通信会社の WEB サイトやアプリから専用料金プランへ契約変更するだけでよい。



中国聯通によると、5G 対応スマホは 4G 契約のままでも使えるという。ただし、4G の通信速度(上り 75Mbps、下り 300Mbps)が適用されるため、5G の高速通信は体感できないと回答している。また職場が 5G エリア内だが自宅はエリア外の場合、自宅では自動的に 4G での通信に切り替わる。逆に、4G スマホのままでも 5G 契約に変更できるが、もちろんスマホ自体が 5G に対応していないため、5G 回線は使えない。

さて各社の料金プランだが、まず中国聯通は月額 129 元～599 元の 7 種類のプランを打ち出している(営業エリアによって料金プランが異なる場合もある)。プランによって通信速度が違い、129 元～199 元の 3 つのプランは最大 500Mbps、239 元～599 元の

4つのプランは1Gbpsとなっている。

最も安い129元のプランには、データ通信量が30GB、無料通話が500分含まれる。データ量をオーバーしても速度制限はされないが1GBごとに3元かかり、上限額は600元となっている。最も高い599元のプランは、データ通信量が300GB、無料通話が3,000分だ。微信(WeChat)などのチャットツールが全盛で、両親や友達はもちろん、自宅に来るエアコンの取付業者からの連絡も、はては取引先の営業担当者からも連絡も、何でもかんでもチャットで済む時代に無料通話が3,000分(=50時間)もついているのは解せないが、なんだかお得には見える。



China unicom 中国联通  
北京 2022 冬奥会官方合作伙伴  
Official Partner of the Olympic Winter Games Beijing 2022

5G<sup>n</sup>  
让未来生长

### 中国联通5G套餐正式来袭

月费	流量	语音	联通会员	网络服务	套外
129	30GB	500	4项 内容 权益	优享 (500Mbps)	套外每分钟0.15元 短信0.1元/条 套外流量3元/GB
159	40GB	500			
199	60GB	1000		极速 (1Gbps)	
239	80GB	1000			
299	100GB	1500			
399	150GB	2000			
599	300GB	3000			

中国聯通の5G料金プラン

続いて中国移動の料金プランは、少々ややこしい。まず個人プランとファミリープランに分かれる。個人プランは、月額128元～598元の5種類のプランがある。最も安い128元のプランは、データ通信量が30GB、無料通話が500分含まれる。データ量を越えた分は3GBまでは1GBごとに5元、その後は1GBごとに3元かかり、上限の500元に達するといったん使用できなくなるが、手続きをすれば上限無く利用できる。速度制限はかからない。こちらプランによって通信速度が違い、128元と198元のプランは最大500Mbps、298元以上のプランは最大1Gbpsとなっている。





一方のファミリープランでは、月額 169 元～869 元の 5 種類のプランが用意されている。こちらにもプランによって通信速度が違い、169 元と 269 元のプランは最大 500Mbps、369 元以上のプランは最大 1Gbps となっている。



インターネットテレビ端末の魔百和

データ通信量や無料通話は 2 人でシェアするのだが、最大の特徴はブロードバンド接続がプランに含まれていることで、「魔百和」というテレビに接続してインターネットやテレビ電話、ハイビジョン放送の視聴ができる端末を 1～3 人で利用できたり、無料通話となる相手を 2～4 人登録できたりする。

### 5G资费看移动

多重权益加持 诚意满满

#### 5G智享套餐个人版

套餐月费 (元/月)	流量 (GB)	语音 (分钟)	网络权益	品牌权益	服务权益	业务权益	会员权益
128	30	500	5G 优享服务	全球通银卡	热线优先接入服务	咪咕5G畅玩包视频彩铃	6选1
198	60	1000		6折			
298	100	1500	5G 极速服务	全球通金卡	延期停机服务	咪咕5G畅玩包视频彩铃	6选2
398	150	2000		2折			
598	300	3000		全球通钻卡			

#### 5G智享套餐家庭版

月费 (元/月)	流量 (GB)	语音 (分钟)	网络权益	品牌权益 (示例)	服务权益	业务权益	带宽 (兆)	魔百和功能 (个)	互打免费 (人)	共享成员 (人)	家庭会员优惠购
169	30	500	5G 优享服务	全球通银卡	热线优先接入服务	视频彩铃	100	1	2	2	6折
269	60	1000	5G 优享服务	全球通金卡	延期停机服务		200	2	3		5折
369	100	1500	5G 极速服务	全球通白金卡	延期停机服务	来电显示	300	3	4	2	2折
569	150	2000	5G 极速服务	全球通白金卡			500				0元购
869	300	3000	5G 极速服务	全球通钻卡	1000	0元购					

套餐外流量：超出后5元1G，满15元后按照3元1G进行计费  
套餐外语音：0.15元/分钟

中国移动の 5G 料金プラン

例えば夫婦 2 人で 169 元のファミリープランを契約した場合、データ通信量や無料

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行っていただくようお願いいたします。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

通話は2人で分け合うが、魔百和を利用できるのはどちらか1人で、無料通話の相手には夫の母親と妻の母親というように2人を登録できる。最も高い869元のプランも同様に2人で分け合うが、魔百和を利用できるのは3人(夫婦+子供という想定だろうか?)、相互無料通話の相手には4人を登録できる。

中国電信は、基本プランが月額129元~599元の7種類で、全プランとも通信速度は最大1Gbpsとなっている。最も安い129元のプランは、データ通信量が30GB、無料通話が500分含まれる。データ量を超えた分は1GBごとに3元かかる。基本プランにブロードバンド接続がついたプランは月額229元~399元の3種類で、中国移动のプランのようにインターネットテレビなどが楽しめる。

## 5G 套餐随心选

基本月费	套餐内		套餐外
	全国流量	全国通话	
129元	30GB	500分钟	流量 3元/GB 语音 0.15元/分钟 短信 0.1元/条 语音加装包 10元/100分钟 可多次订购 副卡2张 10元/张
169元	40GB	800分钟	
199元	60GB	1000分钟	
239元	80GB	1000分钟	
299元	100GB	1500分钟	
399元	150GB	2000分钟	
599元	300GB	3000分钟	

中国電信の5G料金プラン

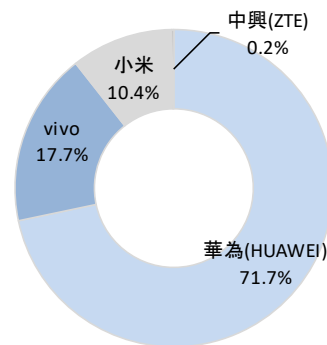
### 3. 5G 対応スマートフォンの値下がり早い予想

5G スマホの出荷台数は2019年11月の時点ですでに507.4万台に達している。中国移动は12月17日に、2020年中の5Gスマホの目標販売台数を1億台以上と発表して

おり、世界では今後5年で出荷台数が19億台に上るとの予測も出ている。

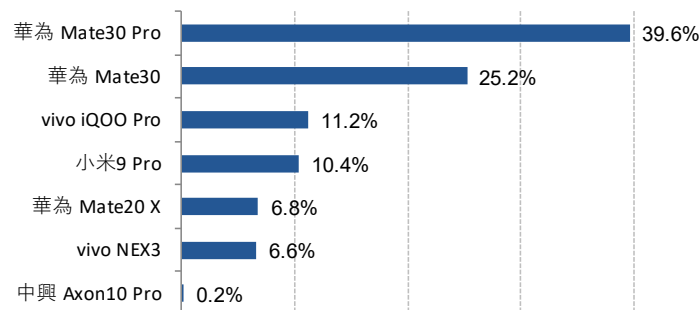
中国では5Gが始まる半年ほど前の2019年6月の時点で5Gスマホとして10機種以上が発表され、その後も多くのメーカーが5Gスマホを出している。実際に5Gがスタートしてみると四大メーカーの7機種に人気集中しているようで、小米は他社に後れを取って9月に新機種を発表したがシェアを10%台まで伸ばした。

2019年11月 5Gスマートフォンのメーカー別シェア



Source: 毎日互動 2019.11.24

2019年11月 5Gスマートフォンのモデル別シェア



Source: 毎日互動 2019.11.24

また今販売されている5Gスマホの多くは、すでにある4Gスマホの5G対応モデルとして登場したものだ。スペックが異なるため単純な比較はできないものの、5Gスマホ








HUAWEI Mate30 系列 5G  
5G 重構想象  
麒麟990 5G SoC芯片 | 超感光徕卡电影四摄

は4Gスマホよりもおおむね1,000円ほど高い4,000~5,000円に設定されている。しかし業界では、コスト圧縮による端末の値下がりペースは4Gスマホが登場した当初よりも早いとの見方が強く、すでに2,000円台の手ごろな価格帯の製品も登場

-7-

本レポートは、業界・企業に関する情報の提供を目的としたものであり、お客様の経営判断や購買、契約行為にあたってはお客様のご判断のもとに行っていただくようお願いいたします。本レポートは、クララオンラインが直接ご提供するという方法でのみ配布しておりますので、お問い合わせにつきましてはクララオンラインまでご連絡ください。本レポートのいかなる部分も、一切の権利は株式会社クララオンラインに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行うことを禁止いたします。なお本レポートに掲載されている第三者の企業名や商標、ロゴマークは個々の権利所有者に帰属します。また本レポートを日本国外で配布することは禁止いたします。

している。2020 年末までに 1,000~1,500 元より安価なローエンドモデルが数多く出回り、4G からの買い替え需要をいっそう押し上げると期待されている。

品牌	5G型号	5G价格(元)	4G型号	4G价格(元)
 HUAWEI	HUAWEI Mate 30 8GB+256GB	5499	HUAWEI Mate 30 8GB+128GB	4299
	ZTE Axon 10 Pro 5G版 12GB+256GB	5799	ZTE AXON10 Pro 12GB+256GB	4199
	小米9 Pro 5G 12GB+256GB	4099	小米9 8GB+256GB	2699
	iQOO Pro 5G版 12GB+256GB	4098	iQOO Pro 4G 全网通版 12GB+128GB	3498
	Galaxy Note 10+5G 12GB+256GB	7999	Galaxy Note 10 8GB+256GB	6599

Source : 騰訊新聞

一方ですでに 5G スマホを手にしたユーザーからは、4G スマホに比べて熱くなりやすいという意見や、スマホの厚みが気になるといった声も出ている。特にゲームをしていると 4G スマホよりも電池の消耗が激しいという不満が聞かれ、インターネット上にはこれから購入する人はもう少し色々な端末が発売されるのを待った方が良いとのコメントも多くでており、端末の値下がりと合わせて乗り換えを様子見しているユーザーも多いようだ。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。本書の内容は 2019 年 12 月 23 日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国ビジネスコンサルティングサービスに関するお問い合わせは次の連絡先までお気軽にご連絡ください。 sales@clara.ad.jp または +81(3)6704-0777(代表)